

日本会議 愛知県本部

〒464-0836

TEL:052-763-4678 FAX:052-763-4588

愛知県名古屋市千種区菊坂町3-5-302 E-mail: tokai-seikyo@mtc.biglobe.ne.jp



あいち通信

第六十二号

会員拡大のチャンス到来！

今、日本会議が注目されています。フライデー、朝日新聞、しんぶん赤旗などに取り上げられ世間の認知度が上がっています。意外と皆さん周りの人たちも日本会議のことを知っているかもしれません。実際に私の職場でも、「え、あのフライデーに載つてた日本会議って本当にあつたの?」と意外な人からの反応がありました。実際フライデー掲載に呼応するかのように会員が増えたと東京本部の人からも聞きました。フライデーでは、第二次安倍内閣の内閣改造後の閣僚の大半が日本会議のメンバーであり、日本会議が安倍内閣に大きな影響を与える風な表現をしています(実際少なからず影響しているのですが)。朝日新聞では、日本会議によって地方議会に憲法改正の働きかけがされていると再来年の国民投票実施を目指すスケジュールが比較的中立的な表現で取り上げられました。しんぶん赤旗に至つては、日本会議が極右団体とされています。(笑)左派勢力からはもちろん警戒されていますが、一般の人たちからは意外と好感を持つ受け止められているかもしれません。「ねえねえ、日本会議って知ってる?」と声をかけてみてはいかがでしょうか?我々の仲間を増やす絶好のチャンスです!

(文責 日本国會議 愛知県本部 事務局 松川秀康)



名古屋東部支部9月度臨時例会 (第十師団創立52周年記念式典・訓練展示見学)報告

九月二十一日(日)
〇一〇〇一—一五〇

式典・訓練展示
一五〇一—一五〇〇

中隊毎に露店出展他駐屯地に解放

参加者4名(うち1名予備自衛官)

当支部顧問である松本隆義元一等陸佐の配慮により招待席にて観閲させて戴くこととなった。

〇八〇〇駐屯地正門前集合、招待席最上段を確保することができた。

報告・名古屋東部支部 第十三回勉強会・街宣実施!

△第一部 △開催日時 九月二十八日(日) 午前九時～午前十一時四十五分

●会場 野並ミニコミニーセンターハイツ ●会費 五百円

●参加者数 六名(勉強会)テーマ「集団的自衛権をめぐる動向」、座長 東部支部長江崎雅博

●安倍政権において閣議決定された事により話題になる事も多くなりました集団的自衛権について学びました。本来、自國の安定・平和は自國戦力で守りきるのが最も良い事であります。これまでの「集団的自衛権を国際法上、保有しているが憲法上、行使が許されない」という解釈では日米同盟が正常に機能せず東アジアの不安定化を誘発する恐れも出てくる事に上がるであろう内容についても確認しました。

△第二部 △街頭演説活動 ●開催日時 同日 午後二時～四時 ●場所 昭和区 御器所交差点南北角地

●会費 無料 ●参加者数 六名【街宣】暑さの残る気候の中、自主憲法の制定について訴えさせて頂くと共にチラシ配り、署名活動を行いました。少しずつではあります、興味を持って頂ける方も増えてきているように思える有意義な時間となりました。☆名古屋東部支部では田中憲法制定に關して街宣活動にて訴えて欲しい内容を募集しております。メール(kakihashi.katou@hotmail.co.jp 加藤貴之宛)までお気軽にご連絡の程、宜しくお願ひ致します☆ (文責・日本会議 愛知県本部 名古屋東部支部 事務局長 加藤貴之)

(文責 日本国會議 愛知県本部 名古屋東部支部長 江崎雅博)

報告・名古屋西支部 第一回街宣実施!

●開催日時 9月18日(木) 午前8時～9時 ●場所 中川区 高畠交差点東角地
●「憲法改正」のテーマでしたが、朝日新聞の捏造記事に対する批判と一日も早い廃刊を訴えました。

朝の通勤客の多い高畠駅での初めての街宣でした。大川支部長が急な仕事のため、欠席するといつことで少し緊張しましたが、マイクを持てばそんなとも言ひません。

西支部は地域密着型の支部でありたいと思いますので今後、中川区・中村区在住の一般市民に日本会議の活動内容をいかに浸透させていくかが大きな課題となります。
(文責 日本国會議 愛知県本部 名古屋西支部 副支部長 江場寛一)

式典では歴代師団長紹介、大村知事始め来賓御方が祝辞を述べられた。次いで麾下部隊紹介、十師団担当地域の県旗紹介等がされた。軍楽隊の演奏も行われたが、何故か国歌演奏がないばかりか、ボビゴー音楽らしき演奏が多い印象を受けた。敢えて保守を除く地域住民からの好意を取り付ける為の意図を感じるのは私だけであろうか。国防を司る組織がそんな卑屈な態度でよいのか?この点だけは決然とせず、今尚こりのようなものが残る。それは置くとして、地元部隊の式典であるだけに感慨はひとしおであった。訓練展示は当然空砲であるが、発射音は実弾並みであり、駐屯地北側のマンション住民から苦情が来ないか察しているが、しかり事前の根回しはあるのである。我々は地元部隊が存分に働くよう積極的に支援してゆかねばならないと考える。

人殺しと罵られて 元自衛官南部文宏の手記その2

た。木曽川で船や急いでいる橋を運ぶという訓練です。私は直接連隊輸送隊に配属されました。この部隊では大型自動車免許を持つてない仕事になりません。早く自動車教習所に通わせてもらつことになりました。

自衛隊は隊員に免許を取りました。そのための自動車教習所を持つています。私は給料を貰いながら、大型免許を無料で取らせて貰つたわけですから、今にして思えばほんと旨い話です。

事務局日誌（八月）

服部守孝

一日（月）今夏開催した、第十四回

もうひとつの戦争反省会。参加

団体からの報告と全体総括が出さ

れた。明年的テーマを終戦七十周年

特集とし、会場は名古屋国際会

ター、会期は七月三十一日～八月

二日の三日間となつた。これからま

た一年かけて企画が進む。

四日（木）長らく貸したままになつて

いた愛読書「國士内田良平」を返し

に、友人来訪。お互いの近況報告な

どして、暫し旧交を温めた。次回は

一献文えることを約して別れる。

七日（日）第六十回愛知県護國神社

清掃奉仕。第一回からちょうど五

周年を迎えた。継続は力也。

日本会議鹿児島の高橋事務局長が

来名。名古屋名物「味噌かつ」を食べ

ながら情報交換。高橋氏は本部より派遣された専従員であるが、約十

年間に組織基盤を固められ、今

日では鹿児島における保守重鎮と

守りました。そのチラシの文面たるや、

信条は相容れませんがある意味、敵

ながらアッパレと脱帽したものでした。

保守系の新聞やチラシなど学内で

見つことがなかつた。強いて言えれば統

一教会系の勝共連合が、共産党を

閉口するほどのおぞましいものでした。

が風が吹くのが熱心な彼ら、思想

通りましたが、校門では左翼学生が

共産党的チラシ配布をほとんど毎日

のようになっていました。雨が降るう

さで、夜は左翼の巣窟、愛知大学に

通いましたが、校門では左翼学生が

チラシへ操縦しました。トランクの荷

台に人間を二十名載せて走るのは、

神経がすり減るほど怖かつたのを今

でも覚えています。

さて、夜は左翼の巣窟、愛知大学に

通いましたが、校門では左翼学生が

チラシを貰いながら、大型免許を

無料で取らせて貰つたわけですから、

今にして思えばほんと旨い話です。

3ヶ月後、予定通り大型免許を取

得しましたが、当時は十九歳と

六ヶ月。「この年齢で普通免許を飛び

越えての大型取得は世間では絶対に

ありえない」とです。

免許を取得して晴れて一般隊員と

六ヶ月。「この年齢で普通免許を飛び</